



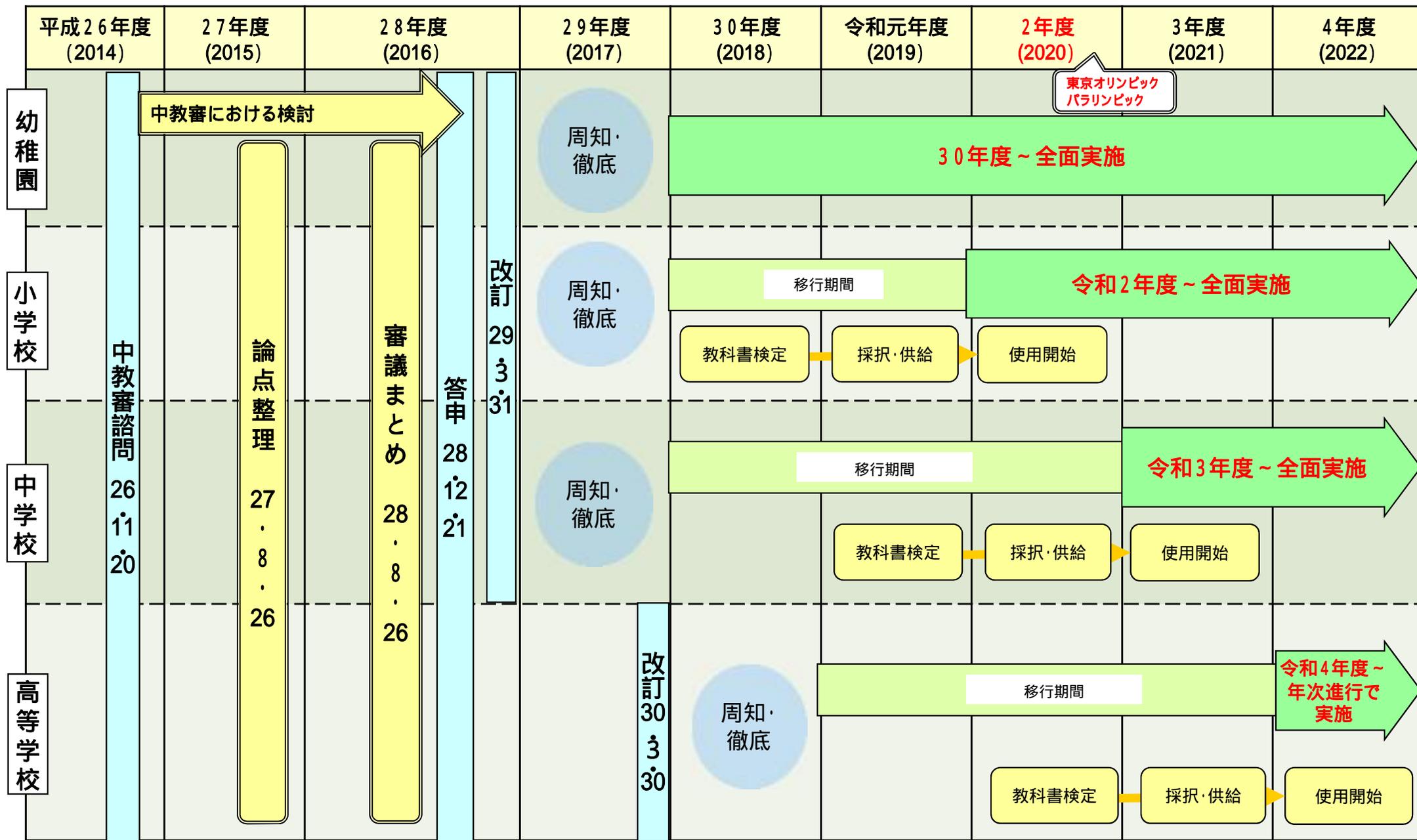
文部科学省

MEXT

MINISTRY OF EDUCATION,
CULTURE, SPORTS,
SCIENCE AND TECHNOLOGY JAPAN

新学習指導要領について

今後の学習指導要領改訂に関するスケジュール



特別支援学校学習指導要領(幼稚園及び小学部・中学部)についても、平成29年4月28日に改訂告示を公示。
特別支援学校学習指導要領(高等部)についても、高等学校学習指導要領と一体的に改訂を進める。

学習指導要領改訂の方向性

新しい時代に必要となる資質・能力の育成と、学習評価の充実

学びを人生や社会に生かそうとする
学びに向かう力・人間性等の涵養

生きて働く知識・技能の習得

未知の状況にも対応できる
思考力・判断力・表現力等の育成

何ができるようになるか

よりよい学校教育を通じてよりよい社会を創るという目標を共有し、
社会と連携・協働しながら、未来の創り手となるために必要な資質・能力を育む

「**社会に開かれた教育課程**」の実現

各学校における「**カリキュラム・マネジメント**」の実現

何を学ぶか

新しい時代に必要となる資質・能力を踏まえた
教科・科目等の新設や目標・内容の見直し

小学校の外国語教育の教科化、高校の新科目「公共」の
新設など

各教科等で育む資質・能力を明確化し、目標や内容を構造
的に示す

学習内容の削減は行わない

どのように学ぶか

主体的・対話的で深い学び（「アクティブ・
ラーニング」）の視点からの**学習過程の改善**

生きて働く知識・技能の習
得など、新しい時代に求
められる資質・能力を育成
知識の量を削減せず、質
の高い理解を図るための
学習過程の質的改善

主体的な学び
対話的な学び
深い学び

よりよい学校教育を通じてよりよい社会を創るという目標を学校と社会とが共有し、それぞれの学校において、必要な教育内容をどのように学び、どのような資質・能力を身に付けられるようにするのかを明確にしながら、社会との連携・協働によりその実現を図っていく。

< 社会に開かれた教育課程 >

社会や世界の状況を幅広く視野に入れ、よりよい学校教育を通じてよりよい社会を創るという目標を持ち、教育課程を介してその目標を社会と共有していくこと。

これからの社会を創り出していく子供たちが、社会や世界に向き合い関わり合い、自分の人生を切り拓いていくために求められる資質・能力とは何かを、教育課程において明確化し育んでいくこと。

教育課程の実施に当たって、地域の人的・物的資源を活用したり、放課後や土曜日等を活用した社会教育との連携を図ったりし、学校教育を学校内に閉じずに、その目指すところを社会と共有・連携しながら実現させること。

1. 今回の改訂の基本的な考え方

教育基本法、学校教育法などを踏まえ、これまでの我が国の学校教育の実践や蓄積を活かし、子供たちが未来社会を切り拓くための資質・能力を一層確実に育成。その際、子供たちに求められる資質・能力とは何かを社会と共有し、連携する「社会に開かれた教育課程」を重視。

知識及び技能の習得と思考力、判断力、表現力等の育成のバランスを重視する現行学習指導要領の枠組みや教育内容を維持した上で、知識の理解の質をさらに高め、確かな学力を育成。

高大接続改革という、高等学校教育を含む初等中等教育改革と、大学教育改革、そして両者をつなぐ大学入学者選抜改革の一体的改革の中で実施される改訂。

2. 知識の理解の質を高め資質・能力を育む「主体的・対話的で深い学び」

「何ができるようになるか」を明確化

知・徳・体にわたる「生きる力」を子供たちに育むため、「何のために学ぶのか」という学習の意義を共有しながら、授業の創意工夫や教科書等の教材の改善を引き出していけるよう、全ての教科等を、知識及び技能、思考力、判断力、表現力等、学びに向かう力、人間性等の3つの柱で再整理。

3. 知識の理解の質を高め資質・能力を育む「主体的・対話的で深い学び」

主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善

選挙権年齢が18歳以上に引き下げられ、生徒にとって政治や社会が一層身近なものとなっており、高等学校においては、社会で求められる資質・能力を全ての生徒に育み、生涯にわたって探究を深める未来の創り手として送り出していくことがこれまで以上に求められる。

そのため、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善が必要。特に、生徒が各教科・科目等の特質に応じた見方・考え方を働かせながら、知識を相互に関連付けてより深く理解したり、情報を精査して考えを形成したり、問題を見いだして解決策を考えたり、思いや考えを基に創造したりすることに向かう過程を重視した学習の充実が必要。

情報を的確に理解し効果的に表現する、社会的事象について資料に基づき考察する、日常の事象や社会の事象を数理的に捉える、自然の事物・現象を観察・実験を通じて科学的な概念を使用して探究する など

既に行われている優れた教育実践の教材、指導案などを集約・共有化し、各種研修や授業研究、授業準備での活用のために提供するなどの支援の充実。

主体的・対話的で深い学びの実現 (「アクティブ・ラーニング」の視点からの授業改善)について(イメージ)

「主体的・対話的で深い学び」の視点に立った授業改善を行うことで、学校教育における質の高い学びを実現し、学習内容を深く理解し、資質・能力を身に付け、生涯にわたって能動的(アクティブ)に学び続けるようにすること

【主体的な学び】の視点

学ぶことに興味や関心を持ち、自己のキャリア形成の方向性と関連付けながら、見通しを持って粘り強く取り組み、自己の学習活動を振り返って次につなげる「**主体的な学び**」が実現できているか。



主体的な学び
対話的な学び
深い学び

学びを人生や社会に
生かそうとする
学びに向かう力・
人間性等の涵養

生きて働く
知識・技能の
習得

未知の状況にも
対応できる
思考力・判断力・表現力
等の育成



【対話的な学び】の視点

子供同士の協働、教職員や地域の人との対話、先哲の考え方を手掛かりに考えること等を通じ、自己の考えを広げ深める「**対話的な学び**」が実現できているか。



【深い学び】の視点

習得・活用・探究という学びの過程の中で、各教科等の特質に応じた「見方・考え方」を働かせながら、知識を相互に関連付けてより深く理解したり、情報を精査して考えを形成したり、問題を見いだして解決策を考えたり、思いや考えを基に創造したりすることに向かう「**深い学び**」が実現できているか。

4. 各学校におけるカリキュラム・マネジメントの確立

教科等の目標や内容を見渡し、特に学習の基盤となる資質・能力(言語能力、情報活用能力、問題発見・解決能力等)や現代的な諸課題に対応して求められる資質・能力の育成のためには、教科等横断的な学習を充実する必要。また、「主体的・対話的で深い学び」の充実には単元など数コマ程度の授業のまとまりの中で、習得・活用・探究のバランスを工夫することが重要。

そのため、学校全体として、教育内容や時間の適切な配分、必要な人的・物的体制の確保、実施状況に基づく改善などを通して、教育課程に基づく教育活動の質を向上させ、学習の効果の最大化を図るカリキュラム・マネジメントを確立。

カリキュラム・マネジメントの3つの側面

各教科等の教育内容を相互の関係で捉え、学校の教育目標を踏まえた教科横断的な視点で、その目標の達成に必要な教育の内容を組織的に配列していく。

教育内容の質の向上に向けて、子供たちの姿や地域の現状等に関する調査や各種データ等に基づき、教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連のPDCAサイクルを確立する。

教育内容と、教育活動に必要な人的・物的資源等を、地域等の外部の資源も含めて活用しながら効果的に組み合わせる。

4. 教科・科目構成の見直し

高等学校において育成を目指す資質・能力を踏まえつつ、教科・科目の構成を改善。

〔国語科における科目の再編（「現代の国語」「言語文化」「論理国語」「文学国語」「国語表現」「古典探究」）
地理歴史科における「歴史総合」「地理総合」の新設、公民科における「公共」の新設、共通教科「理数」の新設、など〕

高等学校の教科・科目構成について （各学科に共通する各教科及び総合的な探究の時間）

□ …共通必修
□ …選択必修
※ グレーの枠内は従来の科目

国語科

| | | | |
|-------|------|------|------|
| 論理国語 | 文学国語 | 国語表現 | 古典探究 |
| 現代の国語 | | 言語文化 | |

地理歴史科

| | | |
|------|-------|-------|
| 地理探究 | 日本史探究 | 世界史探究 |
| 地理総合 | 歴史総合 | |

公民科

| | |
|----|-------|
| 倫理 | 政治・経済 |
| 公共 | |

数学科

| | |
|-----|-----|
| 数学Ⅲ | 数学C |
| 数学Ⅱ | 数学B |
| 数学Ⅰ | 数学A |

理科

| | | | | |
|---------|------|------|------|------|
| | 物理 | 化学 | 生物 | 地学 |
| 科学と人間生活 | 物理基礎 | 化学基礎 | 生物基礎 | 地学基礎 |

保健体育科

| | |
|----|----|
| 体育 | 保健 |
|----|----|

芸術科

| | | | |
|-------|-------|-------|-------|
| 音楽Ⅱ・Ⅲ | 美術Ⅱ・Ⅲ | 工芸Ⅱ・Ⅲ | 書道Ⅱ・Ⅲ |
| 音楽Ⅰ | 美術Ⅰ | 工芸Ⅰ | 書道Ⅰ |

外国語科

| | |
|--|--|
| 英語コミュニケーションⅡ・Ⅲ （「聞くこと」「読むこと」「話すこと」「書くこと」の統合型） | 論理・表現Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ （スピーチやプレゼンテーション、ディベート、ディスカッション等） |
| 英語コミュニケーションⅠ （「聞くこと」「読むこと」「話すこと」「書くこと」の統合型） | |

※英語力調査の結果やC E F Rのレベル、高校生の多様な学習ニーズへの対応なども踏まえ検討。

家庭科

| | |
|------|------|
| 家庭基礎 | 家庭総合 |
|------|------|

情報科

| |
|-----|
| 情報Ⅱ |
| 情報Ⅰ |

理数科

| |
|--------|
| 理数探究 |
| 理数探究基礎 |

総合的な探究の時間

| |
|-----------|
| 総合的な探究の時間 |
|-----------|

※ 実社会・実生活から自ら見出した課題を探究することを通じて、自分のキャリア形成と関連付けながら、探究する能力を育むという在り方を明確化する。

高等学校の各学科に共通する教科・科目等及び標準単位数

〔 改 訂 〕

〔 現 行 〕

| 教科 | 科 目 | 標準 単位数 | 必修科目 |
|----------|---------|-----------|---|
| 国語 | 現代の国語 | 2 | ○ |
| | 言語文化 | 2 | ○ |
| | 論理国語 | 4 | |
| | 文学国語 | 4 | |
| | 国語表現 | 4 | |
| | 古典探究 | 4 | |
| 地理 歴史 | 地理総合 | 2 | ○ |
| | 地理探究 | 3 | |
| | 歴史総合 | 2 | ○ |
| | 日本史探究 | 3 | |
| | 世界史探究 | 3 | |
| 公民 | 公共 | 2 | ○ |
| | 倫理 | 2 | |
| | 政治・経済 | 2 | |
| 数学 | 数学Ⅰ | 3 | ○2単位まで減可 |
| | 数学Ⅱ | 4 | |
| | 数学Ⅲ | 3 | |
| | 数学A | 2 | |
| | 数学B | 2 | |
| | 数学C | 2 | |
| 理科 | 科学と人間生活 | 2 | ┌── 「科学と人間生活」を 含む2科目 又は 基礎を付した科目を 3科目 |
| | 物理基礎 | 2 | |
| | 物理 | 4 | |
| | 化学基礎 | 2 | |
| | 化学 | 4 | |
| | 生物基礎 | 2 | |
| | 生物 | 4 | |
| | 地学基礎 | 2 | |
| | 地学 | 4 | |

| 教科 | 科 目 | 標準 単位数 | 必修科目 |
|----------|---------|-----------|---|
| 国語 | 国語総合 | 4 | ○2単位まで減可 |
| | 国語表現 | 3 | |
| | 現代文A | 2 | |
| | 現代文B | 4 | |
| | 古典A | 2 | |
| | 古典B | 4 | |
| 地理 歴史 | 世界史A | 2 | ┌── ○ ┌── ○ └── |
| | 世界史B | 4 | |
| | 日本史A | 2 | |
| | 日本史B | 4 | |
| | 地理A | 2 | |
| | 地理B | 4 | |
| 公民 | 現代社会 | 2 | 「現代社会」 又は 「倫理」・「政治・経済」 |
| | 倫理 | 2 | |
| | 政治・経済 | 2 | |
| 数学 | 数学Ⅰ | 3 | ○2単位まで減可 |
| | 数学Ⅱ | 4 | |
| | 数学Ⅲ | 5 | |
| | 数学A | 2 | |
| | 数学B | 2 | |
| | 数学活用 | 2 | |
| 理科 | 科学と人間生活 | 2 | ┌── 「科学と人間生活」を 含む2科目 又は 基礎を付した科目を 3科目 |
| | 物理基礎 | 2 | |
| | 物理 | 4 | |
| | 化学基礎 | 2 | |
| | 化学 | 4 | |
| | 生物基礎 | 2 | |
| | 生物 | 4 | |
| | 地学基礎 | 2 | |
| | 地学 | 4 | |
| 理科課題研究 | 1 | | |

| | | | |
|---------------------|---------------|---------------------|----------|
| 保健 体育 | 体育 保健 | 7~8 2 | ○ ○ |
| 芸術 | 音楽Ⅰ | 2 | ○ |
| | 音楽Ⅱ | 2 | |
| | 音楽Ⅲ | 2 | |
| | 美術Ⅰ | 2 | |
| | 美術Ⅱ | 2 | |
| | 美術Ⅲ | 2 | |
| | 工芸Ⅰ | 2 | |
| | 工芸Ⅱ | 2 | |
| | 工芸Ⅲ | 2 | |
| | 書道Ⅰ | 2 | |
| | 書道Ⅱ | 2 | |
| | 書道Ⅲ | 2 | |
| | 外国語 | <u>英語コミュニケーションⅠ</u> | |
| <u>英語コミュニケーションⅡ</u> | | 4 | |
| <u>英語コミュニケーションⅢ</u> | | 4 | |
| <u>論理・表現Ⅰ</u> | | 2 | |
| <u>論理・表現Ⅱ</u> | | 2 | |
| <u>論理・表現Ⅲ</u> | | 2 | |
| 家庭 | <u>家庭基礎</u> | 2 | ┌ ○ |
| | <u>家庭総合</u> | 4 | |
| 情報 | <u>情報Ⅰ</u> | 2 | ○ |
| | <u>情報Ⅱ</u> | 2 | |
| 理数 | <u>理数探究基礎</u> | 1 | |
| | <u>理数探究</u> | 2~5 | |
| <u>総合的な探究の時間</u> | | 3~6 | ○2単位まで減阿 |

| | | | |
|------------------|----------|---------------|----------|
| 保健 体育 | 体育 保健 | 7~8 2 | ○ ○ |
| 芸術 | 音楽Ⅰ | 2 | ○ |
| | 音楽Ⅱ | 2 | |
| | 音楽Ⅲ | 2 | |
| | 美術Ⅰ | 2 | |
| | 美術Ⅱ | 2 | |
| | 美術Ⅲ | 2 | |
| | 工芸Ⅰ | 2 | |
| | 工芸Ⅱ | 2 | |
| | 工芸Ⅲ | 2 | |
| | 書道Ⅰ | 2 | |
| | 書道Ⅱ | 2 | |
| | 書道Ⅲ | 2 | |
| | 外国語 | コミュニケーション英語基礎 | |
| コミュニケーション英語Ⅰ | | 3 | |
| コミュニケーション英語Ⅱ | | 4 | |
| コミュニケーション英語Ⅲ | | 4 | |
| 英語表現Ⅰ | | 2 | |
| 英語表現Ⅱ | | 4 | |
| 英語会話 | | 2 | |
| 家庭 | 家庭基礎 | 2 | ┌ ○ |
| | 家庭総合 | 4 | |
| | 生活デザイン | 4 | |
| 情報 | 社会と情報 | 2 | ┌ ○ |
| | 情報の科学 | 2 | |
| <u>総合的な学習の時間</u> | | 3~6 | ○2単位まで減阿 |